

| | | | |
|---------------|---|-------------|-------|
| クラス NO | 507 | 担当教員 | 鈴木 健司 |
| テーマ | 日本の財政について考えよう | | |
| 著書・論文 | <著書・論文> ・「地方公共団体の非裁量的事業額の推計」『経済論集』(日本福祉大学経済学会) 第 34 号、pp.119-127. 2007 年 3 月 ・「今後の法人事業税のあり方について」『地方財政』(地方財務協会) 第 58 巻第 8 合、pp.12-19. 2007 年 8 月 | | |
| 研究課題等 | <研究課題> 地方自治体の財政分析 | | |

| |
|---|
| ゼミ概要 |
| <p>1. 内容・方法</p> <p>私の専門は財政学です。財政学をおおざっぱに言えば、「どのような公共サービスや公共施設を国民に提供し、どのように財源を確保すれば、国民が幸せになるのか」ということを研究する学問です。今後、わが国は少子高齢化社会を迎えます。そのときに活力ある社会や経済を維持していくために、どのような公共サービスや公共施設を整備し、そのためにどのように財源を確保していけば良いのでしょうか？ゼミではこのような財政問題について考えていきます。</p> <p>ゼミではわが国の財政問題をテーマとして取り組んでもらいますが、あわせて論理的な思考を養うことも目標とします。論理的な思考を行うためには、調査能力・分析能力・表現（プレゼンテーション）能力の向上が欠かせません。近年ではインターネットの普及により各種データなどの情報に接することができます。しかしながら、必要とされる情報を的確に集めることは容易ではありません。また、せっかく集めたデータを分析できなければ意味がありません。さらに調査・分析を通じて得た意見や主張も、説得力のあるプレゼンテーションを行わなければ徒労に終わってしまいます。ゼミでは十分な調査・分析・表現能力に基づいた論理的な思考を養うためのトレーニングとして、ゼミで研究した成果を3年生の秋頃に発表会を行います。</p> <p>なお、ゼミではパソコンを積極的に利用しますので、各自でエクセルやワードのようなソフトに慣れておいてください。もちろん、ゼミでもパソコン実習を行いますので、各種ソフトに慣れていない人にも配慮します。</p> <p>2. 履修上の注意</p> <p>ゼミナールに参加希望者は、一度私の研究室かゼミナールに出席して下さい。ゼミナールの雰囲気には好き嫌いがあると思いますから。さらに、ゼミナールへの参加希望者は「ゼミナール希望票」に、次の(1)～(5)を記入してください。</p> <p>真面目に書いても良いですが、できれば面白く書いて下さい（ウケ狙いアリ）。</p> <p>(1) 志望動機 (2) 自己紹介 (3) 最近の面白かった経験 (4) 最近、一番気になったニュース（なぜ気になったのかを詳しく） (5) 一回生の学生生活を振り返ってみての自己評価（100 点満点のうち何点か、そしてその理由）</p> |

| |
|---|
| 使用テキスト |
| <p>授業で指示します。</p> <p><参考文献> 橋本・山本・林・中井・高林（2003）『基本財政学』有斐閣 林宜嗣（1999）『地方財政』有斐閣</p> |

| |
|--|
| 担当教員からのメッセージ |
| <p>流されるまま一回生を過ごしそうだが二回生からはがんばりたいと思う人で、「やる時は徹夜でもやる」というタフさを持っている人を歓迎します。</p> |